



「健康コラム」

病気と予防のお話し ～JCHO 船橋中央病院から～

第5回 C型肝炎をチェックして、治しましょう

消化器内科 横須賀 収 先生

海神4・5丁目の皆様、船橋中央病院の横須賀でございます。平素は船橋中央病院をご利用頂きまして、有り難うございます。今後も病院の理念であります、「正しい医療、良い医療、優しい医療」を目指していきたく思っておりますので、よろしくお願いします。

私の専門は消化器内科でございますが、本日は、なかでも最近治療法の進歩が著しい、C型肝炎について書いてみたいと思います。肝臓は沈黙の臓器ともいわれて、病気がよほど進行しないと、あまり症状が出ない臓器です。病気の原因としては、現在の日本ではC型肝炎ウイルスが過半数を占めています。またC型肝炎ウイルスを体から排除することで、C型肝炎を治し、肝がんの発症を少なくすることができます。C型肝炎は自覚症状のないことが多いので、検査をしてみないと感染しているかどうかわかりません。また、いつ感染したかわからない方が殆どです。数年前までは、C型肝炎の治療は大変長い期間の治療法で行われていましたが、最近ではあまり副作用のない飲み薬を2～3ヶ月服用するだけで100%近くの方がウイルスを排除できるようになってきました。しかも月1～2万円で治療できるように補助がされています。肝がんの予防のためにも、皆様にはC型肝炎の検査をうけて、もし感染していたら、早めに治療していただきたいと思います。